

マラリア・ノーモア・ジャパン ゼロマラリア 2030 アップデート 第3号
2018年3月発行

<特集> 大メコン圏におけるマラリア排除

詳細は[こちら](#)

1. 大メコン圏におけるマラリア排除：概要
2. WHO メコンマラリア排除プログラム・ニュース
3. WHO メコンマラリア排除パートナーフォーラム
4. 第2回国際保健勉強会：メコンにおけるマラリア排除イニシャティブ

1. 大メコン圏におけるマラリア排除：概要

大メコン圏（タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマーの5か国と中国の雲南省と広西チワン族自治区にまたがるメコン川流域）は長年マラリアの影響地域となっています。過去15年間にこの地域で大きな進展があったとはいえ、特に国境地帯や森林地帯・周辺では例外的にマラリアの高い感染が起こっています。さらに、アルテミシニンに耐性をもつ熱帯熱マラリア原虫が域内の何か所かで警戒を要するレベルにまで広がっています。このため、2014年9月にWHOのマラリア政策諮問委員会（MPAC）は、2030年までにこの地域から熱帯熱マラリアを排除するという目標を採択することを勧告し、翌年5月に大メコン圏でのマラリア排除戦略（2015年～30年）が開始されました。

この戦略では以下を目指しています。

2020年又はそれ以前

- 多剤耐性（アルテミシニンと他の抗マラリア薬の併用療法であるACTへの耐性を含む）が起こっている全ての地域において、熱帯熱マラリアの感染を断つ。

2020年まで

- カンボジアで熱帯熱マラリアが排除される。
- 中国の雲南省でマラリアが排除される。
- マラリアが排除されていない、全ての第一次の副国家レベルの行政単位（州、県、地域など）がマラリア排除フェーズにある（WHOの水準を満たすマラリア症例サーベイランスにより対1000人のスライド原虫陽性率が1未満）

2025年まで

- 域内全ての国で熱帯熱マラリアが排除される。
- カンボジアとタイでマラリアが排除される。

2030年まで：域内全ての国でマラリアが排除される。

2. WHO メコンマラリア排除プログラム・ニュース

「WHO メコンマラリア排除プログラム・ニュース 第6号 (2017年12月発行)」では、以下に加えて地域的取り組みや各国の進捗を掲載しています。

原文 (英語) は

<http://www.who.int/malaria/publications/atoz/greater-mekong-bulletin-6/en/>

最近の進捗

- 大メコン圏 (GMS) の国々はマラリアの予防・診断・治療の努力を近年加速させている。サーベイランスの強化により、マラリアの傾向についてのよりタイムリーなデータを収集・共有できるようになった。
- 2012～16年の間に GMS で報告されたマラリアの症例は 74%削減、死亡は 91%削減した。GMS の 6 か国は 2030 年までにマラリアを排除するという共通の目標に一緒に向かっている。

WHO の対策

- 2013年に「アルテミシン耐性に対する緊急対策 (ERAR)」を開始。しかしアルテミシン耐性は域内の新たな地域にも出現したため、新しいアプローチが必要となった。
- 国家マラリアプログラム及びパートナーとともに「2015～30年の大メコン圏におけるマラリア排除戦略」を策定。
- WHO の技術支援を得て GMS の全ての国は国家マラリア排除計画を策定した。この計画実施に対しても WHO は各国への支援を継続している。
- 2017年に「メコンマラリア排除プログラム (MME)」を開始。

3. WHO メコンマラリア排除パートナーフォーラム

大メコン圏 (GMS) におけるマラリア排除のためのパートナーのコーディネーションを強化するために 2018年3月21～22日にタイのバンコクで「WHO メコンマラリア排除パートナーフォーラム」が開催されました。このフォーラムでは、①活動や成果、好事例などの情報交換、②マラリア排除における主な課題やギャップについての議論、③当地域や国のニーズ (特にサーベイランス) を最も良く満たすための地域や国やレベルの活動の協力・調整を強化する方法の議論、が行われました。

WHO からはメコンマラリア排除プログラムや GMS の国々における薬剤耐性の現状、グローバルファンド地域アルテミシン・イニシャティブ (RAI) 及び排除のための地域アルテミシン・イニシャティブ (RAI2E)、ポリオの事例などのプレゼン、各国マラリアプログラムからはプログラムやサーベイランスの進捗や課題の発表などがありました。

4. 第2回国際保健勉強会：メコンにおけるマラリア排除イニシャティブ

2018年3月28日にJICA会議室で開催された第2回国際保健勉強会で、WHOメコンマラリア排除イニシャティブの岡安裕正コーディネーターに「メコンにおけるマラリア排除イニシャティブ」についてお話いただきました。マラリアの医薬品開発の複雑さ、世界及びメコン地域の目標や状況、耐性などについて包括的な発表をしていただきました。

パワーポイント（英語）：

https://www.mnmj.asia/wp-content/uploads/2018/03/MME-Update-march_JICA.pdf

★=====★

発信元：認定NPO法人 マラリア・ノーモア・ジャパン (MNMJ)

Copyright(C) Malaria No More Japan

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-7-4 秩父屋ビル 8F

Tel: 03-3230-2553 Fax: 03-5275-2020

Web URL: <http://www.mnmj.asia>

Facebook: Malaria No More Japan

★=====★

過去のメルマガは[こちら](#)

本メールマガジンは、メールマガジンに登録された方及び名刺を交換した方々などにお送りしています。万が一重複している場合や配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

advocacy@mnmj.asia